

## 生産者の皆様へ

### オルトラン<sup>®</sup>粒剤 (農林水産省登録第 19993 号) の登録内容変更についてのお知らせ

平成 26 年 11 月 17 日付で、以下の登録内容が変更となりました。

日本では、農薬の安全性を一層担保するために、今年から短期暴露評価が導入されることになりました。この評価にあたり、オルトラン粒剤は自主的に登録縮小の申請をし、登録されました。これは、新たに登録された使用方法で想定される最大の農薬残留が認められる作物を、たとえ通常より非常に多く 1 日に摂取した場合でも、健康に影響を与えないようにするためです。このため、生産者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

#### ●農薬登録の削除作物について

**下記作物への適用が削除されました。オルトラン粒剤の使用をしないようお願いします。**

作物名
ミニトマト
はつかだいこん

#### ●使用方法の変更作物について

**今後、オルトラン粒剤は、右表①のとおり農薬登録変更内容においてご使用願います。**

使用上の注意事項などについては、製品ラベルをご参照ください。

【表① オルトラン粒剤 使用方法変更内容 (変更部分のみ抜粋)】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフトを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ、コガ ヨウムシ アブラムシ類	3~6kg/10a (1~2g/株)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内)
	アブラムシ類	6g/m <sup>2</sup>	育苗期	1回	散布	
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジミ	3~6kg/10a (1~2g/株)	定植時	1回	作条散布 又は 植穴処理	1回
きゅうり なす	アブラムシ類 アザミウマ類 オンシツコナジミ				株元散布	
ピーマン	アブラムシ類	2g/株	定植時	1回	植穴処理	
はくさい	アオムシ、コガ ヨウムシ アブラムシ類	3~6kg/10a (1~2g/株)	定植時	1回	株元散布	
ブロッコリー	ヨウムシ	6kg/10a (2g/株)	定植時	1回	作条散布	
だいこん	アオムシ、コガ アブラムシ類	3~4kg/10a	は種前	1回	株元散布	1回
かぶ	アブラムシ類	4kg/10a	収穫21日前 まで		散布	
れんこん			収穫14日前 まで	2回 以内	無人ヘリコプター による散布	2回以内
ばれいしょ	アブラムシ類	3~6kg/10a (1~2g/株)	植付時	1回	作条散布	3回以内 (植付時の処理は 1回以内、植付後は 2回以内)
たばこ	ヨウムシ、ネキリムシ アブラムシ類 アザミウマ類 ジャガイモガ ヤサイゾウムシ アブラムシ類	3~6kg/10a	移植前		作条散布後 土壌混和	2回以内
			本畑初期	株元散布		

裏面もご覧ください。

## 生産者の皆様へ

### オルトラン<sup>®</sup>水和剤 (農林水産省登録第 19992 号) の登録内容変更についてのお知らせ

平成 26 年 11 月 17 日付で、以下の登録内容が変更となりました。

日本では、農薬の安全性を一層担保するために、今年から短期暴露評価が導入されることになりました。この評価にあたり、オルトラン水和剤は自主的に登録縮小の申請をし、登録されました。これは、新たに登録された使用方法で想定される最大の農薬残留が認められる作物を、たとえ通常より非常に多く 1 日に摂取した場合でも、健康に影響を与えないようにするためです。このため、生産者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

#### ●農薬登録の削除作物について

下記作物への適用が削除されました。オルトラン水和剤の使用をしないようお願いします。

作物名			
かんきつ	トマト	ミニトマト	ブロッコリー
だいこん	なす	かぶ	はつかだいこん

その他、「たかな」が非結球あぶらな科葉菜類から作物削除、「とうもろこし」が「未成熟とうもろこし」に変更されました。

#### ●使用方法の変更作物について

今後、オルトラン水和剤は、右表②のと通りの農薬登録変更内容においてご使用願います。

使用上の注意事項などについては、製品ラベルをご参照ください。

【表② オルトラン水和剤 使用方法変更内容 (変更部分のみ抜粋)】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	
キャベツ	ヨウムシ、ハスモンヨウ タマギンウバ	1000~1500	100~3002 /10a	収穫30日 前まで	1回	散布	2回以内 (定植時までの処理は 1回以内、定植後の 散布は1回以内)	
	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	1000~2000					1回	
はくさい	カブラハバチ、ヨウムシ ハスモンヨウ	1,500	100~3002 /10a	収穫21日 前まで	3回以内	散布	3回以内	
	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	1500~2000					1回	
レタス	ヨウムシ	1000~1500	100~3002 /10a	収穫21日 前まで	1回	散布	3回以内	
	オオタバコガ	1,000					1回	
非結球あぶらな 科葉菜類 (ケール、からしな みずな、ルッコラ たかなを除く)	アブラムシ類	1,500	100~3002 /10a	収穫開始 7日前まで	2回以内	散布	1回	
オクラ	アブラムシ類、トトリヨコバイ	1,000					3回以内	
ばれいしょ	テントウムシダマシ幼虫 ヨウムシ	300	252/10a	収穫30日 前まで	3回以内	無人ヘリコプター による散布	3回以内 (植付時の処理 は1回以内、植付 後は2回以内)	
	アブラムシ類	1000~1500					4回以内 (育苗期の灌水は1回 以内、散布は3回以内)	
てんさい	アブラムシ類、ジャガイモガ	1000~1500	100~3002 /10a	収穫45日 前まで	3回以内	無人ヘリコプター による散布	4回以内 (育苗期の灌水は1回 以内、散布は3回以内)	
	ヨウムシ テンサイモグリハナハエ	1,000					散布	
	ヨウムシ	16					1.62/10a	灌水
	トビハムシ類	300	252/10a	育苗期	1回	灌水		
未成熟 とうもろこし	アブラムシ類	60~100	2.5~32/m <sup>2</sup>	収穫7日 前まで	2回以内	散布	2回以内	
あずき	アズキノメイガ アブラムシ類、ヨウムシ	1,000	100~3002 /10a	収穫14日 前まで	3回以内	無人ヘリコプター による散布	3回以内	
	アブラムシ類	16					1.62/10a	5回以内
たまねぎ	ネギアザミウマ	1000~1500	100~3002 /10a	収穫21日 前まで	5回以内	無人ヘリコプター による散布	5回以内	
		300					252/10a	
		16					1.62/10a	
ぶどう	チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ	1500~2000	200~7002 /10a	収穫60日 前まで	1回	散布	1回	
	ハマキムシ類	1,500					2回以内	
かき	カキタアザミウマ チャノキイロアザミウマ カキハタムシガ フジコナカイガラムシ	1000~2000	200~4002 /10a	摘採45日 前まで	1回	散布	1回	
	チャノキイロアザミウマ チャノトトリヒメヨコバイ	1000~1500						

裏面もご覧ください。

生産者の皆さまへ

平成26年11月17日付で登録内容が変わりました。

# ホクコー オルトラン<sup>®</sup> 粒剤 水和剤



【粒剤：農林水産省登録第13177号】【水和剤：農林水産省登録第13175号】

日本では、農薬の安全性を一層担保するために、今年から短期暴露評価が導入されることになりました。この評価にあたり、ホクコーオルトラン粒剤・水和剤は自主的に登録縮小の申請をし、登録されました。これは、新たに登録された使用方法で想定される最大の農薬残留が認められる作物を、たとえ通常より非常に多く1日に摂取した場合でも、健康に影響を与えないようにするためです。このため、生産者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

## ◆ 農業登録の削除作物について

下記、登録削除作物ではホクコーオルトラン剤を使用しないようお願いします。

ホクコーオルトラン粒剤	作物名	登録削除の内容
	ミニトマト	作物を削除
	はつかだいこん	

ホクコーオルトラン水和剤	作物名	登録削除の内容
	かんきつ	作物を削除
	トマト	
	ミニトマト	
	ブロッコリー	
	なす	
	だいこん	
	かぶ	
	はつかだいこん	

その他、「たかな」が非結球あぶらな科葉菜類から作物削除、「とうもろこし」が「未成熟とうもろこし」に変更されました。

## ◆ 使用方法の変更作物について

今後、ホクコーオルトラン剤は表①および表②のとおりの変更された登録内容においてご使用願います。使用上の注意事項などについては、製品ラベルをご参照ください。

裏面もご覧ください。

表① ホクコーオルトラン粒剤

□：登録縮小に該当する作物  
赤字：変更部分

平成26年11月17日現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ、コナガヨウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1～2g/株)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、 定植後の散布は1回以内)
	アブラムシ類	6g/m <sup>2</sup>	育苗期	1回	散布	
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジミ	3～6kg/10a (1～2g/株)	定植時	1回	作条散布 又は 植穴処理	1回
きゅうり なす	アブラムシ類 アザミウマ類 オンシツコナジミ				株元散布	
ピーマン	アブラムシ類	2g/株			植穴処理	
はくさい	アオムシ、コナガヨウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1～2g/株)			株元散布	
ブロッコリー	ヨウムシ	6kg/10a (2g/株)			作条散布	
だいこん	アオムシ、コナガアブラムシ類	3～4kg/10a	は種前	1回	作条散布	
かぶ	アブラムシ類	4kg/10a	収穫21日前まで		株元散布	1回
ごぼう	アブラムシ類	3～6kg/10a	収穫75日前まで	1回	株元散布	2回以内 (株元散布は1回以内、 散布は1回以内)
れんこん		4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布 無人ヘリコプター による散布	2回以内
ばれいしょ	アブラムシ類	3～6kg/10a (1～2g/株)	植付時	1回	作条散布	3回以内 (植付時の処理は1回以内、 植付後は2回以内)
えだまめ	ハモンヨウ	3～6kg/10a	収穫21日前まで	3回以内	生育期株元散布	3回以内
なばな	アブラムシ類	6kg/10a	定植時	1回	植溝土壌混和	1回
			は種時		播溝土壌混和	
花き類・ 観葉植物	アザミウマ類 アブラムシ類	3～6kg/10a	発生初期	5回以内	株元散布	5回以内
	ヨウムシ類					
宿根スターチス	コガネムシ類幼虫	6kg/10a			株元散布	5回以内
カーネーション	コナガ					
アリウム	ネギコガ					
きく	ネキリムシ類 ハモグリバエ類					
たदैい	アブラムシ類	セル成型育苗 トレイ1箱または ペーパーポット1冊 (30×60cm、使用 土壌約1.5～4L) 当り50g	定植時	1回	本剤の所定量を セル成型育苗 トレイまたは ペーパーポットの 上から均一に 散布する。	1回
いぐさ	イグサシムシガ	6kg/10a	生育期	2回以内	株元散布	2回以内
	スジキリトウ シバツトガ	4kg/10a				
芝	タマナヤガ	10kg/10a	発生初期	5回以内	全面散布	5回以内
	タマナヤガ	5～10kg/10a				
たばこ	ヨウムシ、ネキリムシ アブラムシ類	3～6kg/10a	移植前	1回	作条散布後 土壌混和	2回以内
	アザミウマ類 ジャガイモガ ヤサイゾウムシ アブラムシ類		本畑初期		株元散布	



北興化学工業株式会社

☎03-3279-5161

http://www.hokkochem.co.jp/

表② ホクコーオルトラン水和剤

青字：登録縮小に該当する作物  
赤字：変更部分

平成26年11月17日現在

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農業の総使用回数			
キャベツ	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、タナキ、シウワバ	1000~1500	100~300 L/10a	収穫30日前まで	1回	散布	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は1回以内)			
	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	1000~2000					1回			
はくさい	カブラハバチ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ	1500					1000~1500	3回以内	3回以内	3回以内
	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	1500~2000								
レタス	ヨトウムシ	1000~1500	100~300 L/10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	3回以内			
非結球レタス	オオタバコガ	1000								
	ヨトウムシ	1000~1500								
カリフラワー	オオタバコガ	1000	100~300 L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内			
	ヨトウムシ	1000								
非結球あぶらな科葉菜類 (ケール、からしな、みずな、ルッコラ、 <b>たかな</b> を除く)	アブラムシ類	1500	100~300 L/10a	収穫21日前まで	1回	散布	1回			
しょうが	アワノメイガ	1000	100~300 L/10a	収穫45日前まで	2回以内	散布	2回以内			
ごぼう	アブラムシ類						1回	2回以内 (株元散布は1回以内、散布は1回以内)		
オクラ	アブラムシ類、ミドリヨコバイ	1000	100~300 L/10a	収穫開始7日前まで	1回	散布	1回			
ばれいしょ	テントウムシダマシ幼虫			300	25L/10a		収穫30日前まで	2回以内	3回以内 (補付時の処理は1回以内、補付後は2回以内)	
	アブラムシ類									
	アブラムシ類、ジャガイモガ	1000~1500	100~300L/10a							
てんさい	ヨトウムシ	1000~1500	100~300 L/10a	収穫45日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗期の灌注は1回以内、散布は3回以内)			
	テンサイモグリハナバエ									
	トビハムシ類	1000								
	ヨトウムシ	16	1.6L/10a							
	トビハムシ類	300	25L/10a							
トビハムシ類	60~100	2.5~3L/㎡	育苗期	1回	灌注					
未成熟とうもろこし	アブラムシ類	1000	100~300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内			
あずき	アズキノメイガ	1000	100~300 L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内			
だいず	アブラムシ類、ヨトウムシ									
		アブラムシ類	16	1.6L/10a	収穫60日前まで		無人ヘリコプターによる散布			
えだまめ	ハスモンヨトウ、アブラムシ類	1000	100~300 L/10a	収穫21日前まで	5回以内	散布	5回以内			
いんげんまめ	アブラムシ類	1000	100~300 L/10a	収穫14日前まで						
たまねぎ	ネギアザミウマ	1000~1500	25L/10a	収穫21日前まで	5回以内	無人ヘリコプターによる散布	5回以内			
		300								
		16						1.6L/10a		
にんにく	ネギコガ、アブラムシ類	1000	100~300L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内			
ぶどう	チャノキアザミウマ	1500~2000	200~700 L/10a	収穫60日前まで	1回	散布	1回			
	フタデシロコバイ	1500								
	ハマキムシ類	1500								

使用上の注意事項などについては、製品ラベルをご参照ください。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農業の総使用回数
かき	カキタアザミウマ、チャノキアザミウマ、カキノハタムシ、フジコカイガラムシ	1500	200~700 L/10a	収穫45日前まで	2回以内	散布	2回以内
いちじく	アザミウマ類	2000	200~700L/10a	収穫45日前まで	1回	散布	1回
茶	チャノキアザミウマ	1000~2000	200~400 L/10a	摘採45日前まで	1回	散布	1回
	チャノドリヒメコバイ	1000~1500					
さんしょう(果実)	チャノキアザミウマ	1500	200~700 L/10a	収穫14日前まで	1回	散布	1回
だいおう	ヨトウムシ	1000	100~300 L/10a	生育期但し、収穫230日前まで	3回以内		3回以内
みしまさいこ	アブラムシ類	1500		収穫30日前まで	5回以内		5回以内
薬用いんじん				収穫180日前まで	3回以内		3回以内
ソルガム	ヤマノイモコガ	1000	25~180 L/10a	収穫45日前まで	1回	散布	1回
やまのいも	ジャガイモヒゲナガアブラムシ						
葉しょうが	アワノメイガ			収穫21日前まで			
たばこ	ヨトウムシ、タバコアオムシ	1500~2500	25~180 L/10a	収穫10日前まで	2回以内	散布	2回以内
	アブラムシ類	1000~2000	1L/㎡	苗床期			
	ヤサイゾウムシ	1500~2000	25~180 L/10a	収穫10日前まで			
つつじ類	ツツジゲンバイ	1500	200~700 L/10a				
つばき類	チャドクガ	1000~1500					
さくら	モンクロシヤチホコ	1500~2000	100~300 L/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内
花き類・観葉植物	アザミウマ類、アブラムシ類	1000~1500					
さく	アオムシ、ヨトウムシ類						
ストック	マハモグリハエ、オオタバコガ						
宿根アスター	コナガ、ハイマダラメイガ						
オンシジウム	ヨメスジハモグリハエ						
カーネーション	カイラムシ類						
ひまわり	コナガ						
斑入りアマドコロ	タバコガ						
リアトリス	ハマキムシ類						
樹木類	アザミウマ類	1000	200~700L/10a				
グラジオラス			—	植付時	1回	10分間 球根浸漬	
芝	シバツトガ、タナヤガ	1000	0.25~2L/㎡	発生初期	5回以内	散布	5回以内
	スズキリトウ、ケラ		1~2L/㎡				
	シバオサゾウムシ成虫		2L/㎡				
	アカフツツリガ		0.5~1L/㎡				
もりあざみ	アブラムシ類	1500	100~300 L/10a	収穫45日前まで	1回		1回
まめ科牧草		1000			3回以内		3回以内



北興化学工業株式会社

☎03-3279-5161

http://www.hokkochem.co.jp/

13175P01002

使用者の皆さまへ

**家庭園芸用  
GFオルトラン®水和剤**  
(農林水産省登録第21819号)

**登録内容変更  
についてのお知らせ**

平成26年11月17日付で、以下の登録内容が変更となりました。

日本では、農薬の安全性を一層担保するために、今年から短期暴露評価が導入されることになりました。この評価にあたり、**家庭園芸用GFオルトラン水和剤**は自主的に登録縮小の申請をし、登録されました。  
これは、新たに登録された使用方法で想定される最大の農薬残留が認められる作物を、たとえ通常より非常に多く1日に摂取した場合でも、健康に影響を与えないようにするためです。このため、使用者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録内容にてご使用いただきますようお願い致します。

●**農薬登録の削除作物について**

下記作物への適用が削除されました。家庭園芸用GFオルトラン水和剤の使用をしないようお願いします。

家庭園芸用GFオルトラン水和剤

作物名	
かんきつ	なす
トマト	ミニトマト
はつかだいこん	ブロッコリー
だいこん	

その他、「とうもろこし」が「未成熟とうもろこし」に変更されます。

●**使用方法の変更作物について**

今後、家庭園芸用GFオルトラン水和剤は、右表のとおり**の農薬登録変更内容**においてご使用願います。

使用上の注意事項などについては、製品ラベルをご参照ください。

【表 家庭園芸用GFオルトラン水和剤 使用方法変更内容 (変更部分のみ抜粋)】

※印は本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	総使用回数 ※	使用方法
キャベツ	ヨトウムシ ハスモンヨトウ タマナギンウバ	1,000~ 1,500倍	100~300 mℓ/m <sup>2</sup>	収穫30日 前まで	1回	散布
	アオムシ コナガ アブラムシ類	1,000~ 2,000倍				
はくさい	カブラハバチ ヨトウムシ ハスモンヨトウ	1,500~ 2,000倍	100~300 mℓ/m <sup>2</sup>	収穫30日 前まで	1回	散布
	ヨトウムシ	1,000~ 1,500倍				
レタス	オオタバコガ	1,000倍	100~300 mℓ/m <sup>2</sup>	収穫30日 前まで	3回以内	散布
	アブラムシ類 ジャガイモガ	1,000~ 1,500倍				
ばれいしょ	テントウムシダマシ幼虫 ヨトウムシ	1,000倍	100~300 mℓ/m <sup>2</sup>	収穫30日 前まで	2回以内	散布
	アブラムシ類					
未成熟 とうもろこし	アブラムシ類	1,000倍	200~700 mℓ/m <sup>2</sup>	収穫7日 前まで	2回以内	散布
オクラ	アブラムシ類 ミドリヨコバイ	1,000倍	200~700 mℓ/m <sup>2</sup>	収穫開始 7日前まで	1回	散布
ぶどう	チャノキイロアザミウマ フタテンヒメヨコバイ	1,500~ 2,000倍	200~700 mℓ/m <sup>2</sup>	収穫60日 前まで	1回	散布
	ハマキムシ類	1,500倍				
かき	カキクダアザミウマ カキノヘタムシガ チャノキイロアザミウマ	1,500倍	200~700 mℓ/m <sup>2</sup>	収穫45日 前まで	2回以内	散布

作物名「かき」の「適用害虫名」の「カキノヒメヨコバイ」が削除されました。

使用者の皆さまへ

## 家庭園芸用 GFオルトラン®粒剤

(農林水産省登録第 21789 号)

## 登録内容変更 についてのお知らせ

平成 26 年 11 月 17 日付で、以下の登録内容が変更となりました。

日本では、農薬の安全性を一層担保するために、今年から短期暴露評価が導入されることになりました。この評価にあたり、**家庭園芸用GFオルトラン粒剤**は自主的に登録縮小の申請をし、登録されました。

これは、新たに登録された使用方法で想定される最大の農薬残留が認められる作物を、たとえ通常より非常に多く 1 日に摂取した場合でも、健康に影響を与えないようにするためです。このため、使用者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録内容にてご使用いただきますようお願い致します。

### ●農薬登録の削除作物について

下記作物への適用が削除されました。家庭園芸用GFオルトラン粒剤の使用をしないようお願いします。

### 家庭園芸用 GF オルトラン粒剤

作物名	
ミニトマト	はつかだいこん

### ●使用方法の変更作物について

今後、家庭園芸用GFオルトラン粒剤は、右表のとりの農薬登録変更内容においてご使用願います。

使用上の注意事項などについては、製品ラベルをご参照ください。

【表 家庭園芸用GFオルトラン粒剤 使用方法変更内容(変更部分のみ抜粋)】

※印は本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	総使用回数※	使用方法
きゅうり なす	アブラムシ類 アザミウマ類 オンシツコナジラミ	3~6g/m <sup>2</sup> (1株当り 1~2g)	定植時	1回	植溝散布 又は 植穴処理
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ				株元散布
ピーマン	アブラムシ類	1株当り2g			散布
キャベツ	アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	3~6g/m <sup>2</sup> (1株当り 1~2g)	定植時	本剤：1回 アセフェート：2回以内 (定植時までの処理は1回以内、 定植後の散布は1回以内)	植穴処理
はくさい	アブラムシ類				
ブロッコリー	ヨトウムシ	6g/m <sup>2</sup> (1株当り2g)		1回	株元散布
だいこん	アオムシ コナガ アブラムシ類	3~4g/m <sup>2</sup>	は種前		植溝散布
かぶ		4g/m <sup>2</sup>	収穫21日前まで	1回	株元散布
ばれいしょ	アブラムシ類	3~6g/m <sup>2</sup> (1株当り 1~2g)	植付時	本剤：1回 アセフェート：3回以内 (植付時の処理は1回以内、 植付後は2回以内)	植溝散布

使用者の皆さまへ

**オルトラン® DX粒剤**  
(農林水産省登録第 21733 号)

**登録内容変更についてのお知らせ**

平成 26 年 11 月 17 日付で、以下の登録内容が変更となりました。

日本では、農薬の安全性を一層担保するために、今年から短期暴露評価が導入されることになりました。この評価にあたり、**オルトラン DX 粒剤**は自主的に登録縮小の申請をし、登録されました。

これは、新たに登録された使用方法で想定される最大の農薬残留が認められる作物を、たとえ通常より非常に多く 1 日に摂取した場合でも、健康に影響を与えないようにするためです。このため、使用者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録内容にてご使用いただきますようお願い致します。

●使用方法の変更作物について

今後、**オルトラン DX 粒剤**は、下表のとおりの農薬登録変更内容においてご使用願います。使用上の注意事項などについては、製品ラベルをご参照ください。

【表 **オルトランDX粒剤** 使用方法変更内容 (変更部分のみ抜粋)】

※印は本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	総使用回数 ※	使用方法
きゅうり	コナジラミ類	2g/株	定植時	本剤：1回 アセフェート：1回 クロチアニジン：4回以内 (育苗期の株元処理及び 定植時の土壌混和は 合計1回以内、 散布及び定植後の株元散布は 合計3回以内)	植穴処理 土壌混和
なす	アブラムシ類				
トマト		1g/株			

使用者の皆さまへ

家庭園芸用ホクコーオルトラン<sup>®</sup>粒剤 (農林水産省登録第 19568 号)  
 の登録内容変更についてのお知らせ

平成 26 年 11 月 17 日付で、以下の登録内容が変更となりました。

日本では、農薬の安全性を一層担保するために、今年から短期暴露評価が導入されることになりました。この評価にあたり、家庭園芸用ホクコーオルトラン粒剤は自主的に登録縮小の申請をし、登録されました。これは、新たに登録された使用方法で想定される最大の農薬残留が認められる作物を、たとえ通常より非常に多く 1 日に摂取した場合でも、健康に影響を与えないようにするためです。

このため、使用者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

● 農薬登録の削除作物について

下記作物への適用が削除されました。家庭園芸用ホクコーオルトラン粒剤の使用をしないようお願いいたします。

作物名
ミニトマト
はつかだいこん

● 使用方法の変更作物について

今後、家庭園芸用ホクコーオルトラン粒剤は、表①のとおり農薬登録変更内容においてご使用願います。使用上の注意事項などについては、製品ラベルをご参照ください。

【表① 家庭園芸用ホクコーオルトラン粒剤 (変更部分のみ抜粋)】

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	7セプトを含む農薬の総使用回数
キャベツ	アオムシ、コナガヨウムシ、アブラムシ類	3~6g/m <sup>2</sup> (1株当り1~2g)	定植時	1回	植穴処理	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、 定植後は1回以内)
	アブラムシ類	6g/m <sup>2</sup>	育苗期	1回	散布	
はくさい	アオムシ、コナガヨウムシ、アブラムシ類	3~6g/m <sup>2</sup> (1株当り1~2g)	定植時	1回	植穴処理	1回
トマト	アブラムシ類、オンシツコナジラミ				植溝散布 又は 植穴処理	
きゅうり、なす	アブラムシ類、アザミマダラ、オンシツコナジラミ				株元散布	
ピーマン	アブラムシ類				株元散布	
ブロッコリー	ヨウムシ	6g/m <sup>2</sup> (1株当り2g)			株元散布	
だいこん	アオムシ、コナガアブラムシ類	3~4g/m <sup>2</sup>	は種前	1回	植溝散布	
かぶ		4g/m <sup>2</sup>	収穫21日前まで		株元散布	1回
ばれいしょ	アブラムシ類	3~6g/m <sup>2</sup> (1株当り1~2g)	植付時	1回	植溝散布	3回以内 (植付時の処理は1回以内、 植付後は2回以内)

裏面もご覧ください。

使用者の皆さまへ

## 家庭園芸用ホクコーオ尔特ラン® 水和剤 (農林水産省登録第 19566 号) の登録内容変更についてのお願い

平成 26 年 11 月 17 日付で、以下の登録内容が変更となりました。

日本では、農薬の安全性を一層担保するために、今年から短期暴露評価が導入されることになりました。この評価にあたり、家庭園芸用ホクコーオ尔特ラン水和剤は自主的に登録縮小の申請をし、登録されました。これは、新たに登録された使用方法で想定される最大の農薬残留が認められる作物を、たとえ通常より非常に多く 1 日に摂取した場合でも、健康に影響を与えないようにするためです。

このため、使用者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

### ● 農薬登録の削除作物について

下記作物への適用が削除されました。家庭園芸用ホクコーオ尔特ラン水和剤の使用をしないようお願いします。

作物名			
かんきつ	ミニトマト	トマト	なす
ブロッコリー	はつかだいこん	だいこん	

その他、「とうもろこし」が「未成熟とうもろこし」に変更されました。

### ● 使用方法の変更作物について

今後、家庭園芸用ホクコーオ尔特ラン水和剤は、表②のとおり農薬登録変更内容においてご使用願います。使用上の注意事項などについては、製品ラベルをご参照ください。

【表② 家庭園芸用ホクコーオ尔特ラン水和剤 (変更部分のみ)】

作物名	適用害虫名	希釈倍率(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセフェートを含む農薬の総使用回数	
キャベツ	ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、タマナギンウバ	1000~1500		収穫30日前まで	1回	散布	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後は1回以内)	
	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	1000~2000						
はくさい	かブラハバチ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ	1500	100~300		ml/m <sup>2</sup>		3回以内	1回
	アオムシ、コナガ、アブラムシ類	1500~2000						
レタス	ヨトウムシ	1000~1500			3回以内		3回以内	3回以内
	オオタバコガ	1000						
ばれいしょ	テトウムシ、ダマシ幼虫、ヨトウムシ	1000			2回以内		3回以内 (植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内)	3回以内 (植付時の処理は1回以内、植付後は2回以内)
	アブラムシ類、ジャガイモガ	1000~1500						
オクラ	アブラムシ類、ミドリヨコバイ	1000			収穫開始7日前まで		1回	1回
未成熟とうもろこし	アブラムシ類	1000			収穫7日前まで		2回以内	2回以内
ぶどう	チャ/キイロアザミウマ、フタテヒメヨコバイ	1500~2000		200~700	1回	1回		
	ハマキムシ類	1500						
かき	カキクダアザミウマ、チャ/キイロアザミウマ、カキ/ハタムシガ	1500	ml/m <sup>2</sup>	収穫45日前まで	2回以内	2回以内		

裏面もご覧ください。